# 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名(英) | 財務管理論 (Financial Management ) | | | 授業コード | E020301 |
| 担当教員名 | 吉本　圭一郎 | | | 科目ナンバリングコード | E30610 |
| 配当学年 | 3 | 開講期 | 前期 | | |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 4 | | |
| 履修上の注意または履修条件 | 講義には休まずに出席してください。また，計算機(電卓)を必ず持ってきてください。 | | | | |
| 受講心得 | 財務管理の専門知識を修得するという貪欲な気持ちで受講してください。 | | | | |
| 教科書 | 最初の講義で指定します。 | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 西澤修著『新訂　財務管理改訂版』泉文堂<br>石鍋信孝著『経営に活かす財務マネージメント』産業能率大学出版部<br>村松司叙著『財務管理入門―三定版―』同文館<br>TAC出版「中小企業診断士　スピードテキスト2　財務会計」 | | | | |
| 関連科目 | 簿記入門，簿記原理，会社簿記，財務諸表論，原価計算論，管理会計論A・B，経営分析，監査論 | | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | 財務管理とは，事業のための資金を調達し，その資金を各事業に回してリターンを得て，経営指標(企業価値)を高めていき，そしてそのために経営指標や財務指標を重要経営指標(KPI)として，その活動を管理していくことをいいます。本講義では，財務管理の理論と技法を理解し，習得することを目的としています。 |
| 授業の概要 | 授業では，毎回レジュメを配布し，それにそって講義を進めていきます。 |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 ： 総論(1)<br>本講義のガイダンスと財務管理論の体系について学習します。 | レジュメ(財務管理の概要と企業の仕組みについて)を復習する(30分) |
| 第 2 週 ： 総論(2)<br>財務会計と管理会計の違い，会社法・税法・金融商品取引法等の位置づけについて解説します。 | 確認問題(資本の調達と運用について)を復習する(1時間) |
| 第 3 週 ： 財務諸表(1)<br>会社法適用をうける株式会社は，各種財務諸表の作成が義務づけられています。ここではその財務諸表のうち，貸借対照表について財務管理の視点から解説します。 | 確認問題(貸借対照表の意義や仕組み，財務諸表の種類)を復習する(1時間) |
| 第 4 週 ： 財務諸表(2)<br>引き続き，基本財務諸表の一つである損益計算書について，財務管理の視点から解説します。 | 確認問題(損益計算書の意義と仕組み)を復習する(1時間) |
| 第 5 週 ： 財務諸表(3)<br>引き続き，基本財務諸表の一つである株主資本等変動計算書(S/S)やそれ以外の報告書について，財務管理の視点から解説します。 | 確認問題(S/Sの意義や仕組み)を復習する(1時間) |
| 第 6 週 ： 収益性分析(1)<br>財務分析の重要な分析指標である収益性について解説します。ここではとくに収益性分析の代表的な指標である資本利益率について学習します。 | 確認問題(資本利益率)を復習する(1時間) |
| 第 7 週 ： 収益性分析(2) | |

| | |
|---|---|
| 引き続き，財務分析の重要な分析指標である収益性について解説します。ここではとくに資本回転率や売上高利益率について学習します。 | 確認問題（資本利益率，回転率）を復習する（1時間） |
| **第 8 週 ： これまでのマトメと確認テスト**<br>前回までの講義の内容について，マトメと確認テストを行います。持ち込みは筆記具，計算機（電卓）以外は不可です。 | 確認テストに出題されたところを中心に復習する（1時間） |
| **第 9 週 ： 安全性分析（1）**<br>前回の確認テストを返却し，解説します。その後，財務分析の重要な分析指標である安全性について解説します。ここではとくに安全性分析の代表的な指標である流動比率，当座比率について学習します。 | 確認テストと確認問題（流動比率，当座比率）を復習する（2時間） |
| **第10週： 安全性分析（2）**<br>引き続き，安全性ついて解説します。特に安全性分析の代表的な指標である固定比率，固定長期適合率，手元流動性比率について学習します。 | 確認問題（収益性，安全性分析の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第11週： 生産性分析（1）**<br>財務分析の重要な分析指標である生産性について解説します。ここではとくに生産性分析の意義や付加価値の意義，売上高付加価値率の算定や労働生産性分析等について学習します。 | 確認問題（生産性分析の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第12週： 生産性分析（2）**<br>引き続き，生産性分析について解説します。ここではとくに労働装備率や設備生産性について学習します。 | 確認問題（生産性分析の発展問題）を復習する（1時間） |
| **第13週： 利益管理（1）**<br>企業における短期利益計画と原価計算，損益分岐点分析について解説します。 | 確認問題（短期利益計画の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第14週： 利益管理（2）**<br>引き続き短期利益計画について解説します。ここではとくに損益分岐点比率，安全余裕率について学習します。 | 確認問題（短期利益計画の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第15週： 利益管理（3）**<br>引き続き短期利益計画について解説します。ここではとくに損益分岐点のケーススタディを中心に学習します。 | 確認問題（短期利益計画の発展問題）を復習する（1時間） |
| **第16週： これまでのマトメと確認テスト**<br>前回までの講義の内容について，マトメと確認テストを行います。持ち込みは，筆記具，計算機（電卓）以外は不可です。 | 確認テストに出題されたところを中心に復習する（1時間） |
| **第17週： 資本調達（1）**<br>前回の確認テストを返却し，解説します。その後，企業の資本調達について解説します。ここではとくに企業の株式発行，社債発行について学習します。 | 確認テストと確認問題（株式発行，社債発行の問題）を復習する（1時間） |
| **第18週： 資本調達（2）**<br>引き続き企業の資本調達について解説します。ここではとくに外部金融や自己金融について学習します。 | 確認問題（外部金融，自己金融の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第19週： 資本運用（1）**<br>企業の資本運用について解説します。ここでは設備投資，将来価値と現在価値，割引率，経済性計算について学習します。 | 確認問題（経済性計算の基本問題）を復習する（1時間） |
| **第20週： 資本運用（2）**<br>引き続き資本運用の経済性計算について解説します。ここではとくに正味現在価値法（NPV）や内部収益率法（IRR）について学習します。 | 確認問題（NPV，IRRの基本問題）を復習する（1時間） |
| **第21週： 資本運用（3）**<br>引き続き資本運用の経済性計算について解説します。ここではとくに収益指数法（PI）や回収期間法（PP）について学習します。 | 確認問題（PI，PPの基本問題）を復習する（1時間） |

| | |
|---|---|
| **第22週： 資本運用(4)**<br>引き続き資本運用の経済性計算について解説します。ここではとくに法人税を考慮した正味現在価値法，タックスシールド等について学習します。 | 確認問題(税金を考慮したNPVの発展問題)を復習する(1時間) |
| **第23週： 資本コスト**<br>資本コストの意義について解説します。財務的意思決定において，資本コストの果たす役割は大変重要です。ここではその具体的な算定方法(WACC)について学習します。 | 確認問題(資本コスト，WACCの基本問題)を復習する(1時間) |
| **第24週： 在庫投資**<br>企業が棚卸資産を取得するために資本を投入するのが，在庫投資です。ここでは最適発注量(EOQ)の算定方法について学習します。 | 確認問題(EOQの基本問題)を復習する(1時間) |
| **第25週： これまでのマトメと確認テスト**<br>前回までの講義の内容について，マトメと確認テストを行います。持ち込みは，筆記具，計算機(電卓)以外は不可です。 | 確認テストに出題されたところを中心に復習する(1時間) |
| **第26週： 株価の算定**<br>前回の確認テストを返却し，解説します。その後，株価の算定モデルについて解説します。ここではとくに配当割引モデル(DDM)や株価に関する各種指標(PER，PBR等)について学習します。 | 確認テストと確認問題(株価の各種指標の基本問題)を復習する(1時間) |
| **第27週： 株価の算定(2)**<br>引き続き株価の算定について解説します。ここではとくに等について株価に関する各種指標(配当利回り，配当性向など)について学習します。 | 確認問題(株価の各種指標の基本問題)を復習する(1時間) |
| **第28週： 債券価格の算定**<br>債券の種類や単利，複利について解説します。ここでは特に割引債(ゼロクーポン債)や利付債(クーポン債)，単利計算や複利計算等について学習します。 | 確認問題(債権価格の算定の基本問題)を復習する(1時間) |
| **第29週： 企業価値の算定(1)**<br>企業価値について解説します。特に，フリーキャッシュフローを用いた企業価値の算定方法等を解説します。 | 復習をすること。講義配布資料と確認問題(1時間) |
| **第30週： 企業価値の算定(2)**<br>前回に続いて，企業価値について解説します。特に，純資産額法や収益還元法などの企業価値算定方法を解説します。 | 復習をすること。講義配布資料と確認問題(3時間) |
| **第31週： 期末試験**<br>これまでの講義の内容について，期末テストを行います。持ち込みは，筆記具，計算機(電卓)以外は不可です。 | 試験問題，解答例。 |

| | | |
|---|---|---|
| **授業の運営方法** | (1)授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| **地域志向科目** | 該当しない | |
| **備考** | 質問等はEメールでも受け付けます。 | |

| **○単位を修得するために達成すべき到達目標** | |
|---|---|
| **【関心・意欲・態度】** | 財務管理の意義・目的について説明できる。 |
| **【知識・理解】** | 財務管理に用いる代表的な分析指標に関する基礎知識が身についている。 |
| **【技能・表現・コミュニケーション】** | 財務管理に関する代表的な分析指標を使いこなすことができる。 |
| **【思考・判断・創造】** | 企業の財務管理に関して論理的に考察できる。 |

| | | |
|---|---|---|
| **○成績評価基準(合計100点)** | 合計欄 | 100点 |

| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等（テスト） | レポート・作品等（提出物） | 発表・その他（無形成果） |
|---|---|---|---|
| **【関心・意欲・態度】**<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | **15点** |
| **【知識・理解】**<br>※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | **70点** | | |
| **【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】**<br>※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | **10点** | |
| **【思考・判断・創造】**<br>※「考え抜く力」を含む。 | | **5点** | |

**（「人間力」について）**

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

**〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|---|---|
| **レポート・作品等（提出物）** | 授業の確認問題をしっかりやること。授業終了時に教員がチェックします。Sレベル：達成目標を満たしている。Aレベル：ほぼ満たしている。Bレベル：なんとか満たしている。Cレベル：一部分満たしている。 |
| **発表・その他（無形成果）** | 授業中に適宜質問をします。優れた解答をした学生は，記録して加点することがあります。 |